

M O N T H L Y

vol.82

U P

色彩表現にもやさしさを。



目立つと思っていた配色が、 実は判別しにくい、という事実。

男性の20人に1人、女性の500人に1人が、色覚に障がいを持つとされています。
これは決して少ない数字ではありません。
これからは、より色彩に配慮した印刷物作りが求められてくるでしょう。

以前、マンスリーアップでもご紹介したUDフォント。これは、すべての人に読みやすく、誤読されにくいという、ユニバーサルデザインの考え方に基づき開発されたものです。しかし、印刷物におけるユニバーサルデザインは、何も文字だけではありません。色覚障がい者のことを考慮し、色についても配慮が必要になってきます。

一般的に、色覚障がいのある人は「色の見え方が異なる」と同時に、「特定の色同士が判別しにくい」とされます。そこでまず、色覚障がいのある人と、そうでない人、それぞれ見え方の違いを知ることが重要。知ることによって、デザインの段階から、

その不便さを取り除いていくことが可能になります。ここでは判別しやすさについてご紹介します。

「障がい」の表記について
日本語は表意文字です。文字自体が意味を持つ日本語の環境にあって、害という字が与える印象は、決して良くはありません。そこで最近では、「障害」から「障がい」へと、その表記を見直す動きがあります。今回のマンスリーアップでは、その動きに賛同して「障がい」と表記しました。

●セパレーションによる工夫



●色の組合せによる工夫





<http://www.sezax.co.jp>

<input type="checkbox"/> 本社・工場	〒146-0091 大田区鶴の木2-9-7	TEL 03 (3758) 2511(代)	FAX 03 (3758) 2754	
		営業専用	FAX 03 (3758) 2544	
<input type="checkbox"/> 渋谷コア	〒150-0002 渋谷区渋谷3-19-1 渋谷オミビル6F	TEL 03 (3400) 9211(代)	FAX 03 (3409) 7315	
		5F	TEL 03 (3400) 9401(代)	FAX 03 (5468) 9253
<input type="checkbox"/> 下丸子工場	〒146-0092 大田区下丸子2-20-4	TEL 03 (3758) 2516(代)	FAX 03 (3758) 8850	

株式会社セザックスクリエイティヴ

〒150-0002 渋谷区渋谷3-19-1 渋谷オミビル2F TEL 03 (3409) 4970(代) FAX 03 (3409) 2732

株式会社セザックスインターナショナル

〒150-0002 渋谷区渋谷3-19-1 渋谷オミビル2F TEL 03 (3409) 0527(代) FAX 03 (3409) 6610



VOC(揮発性有機化合物)成分ゼロの地球にやさしいインキを使用しました。

この小冊子は森林認証紙を使用しています。